



November. 2017 vol. 95

発行所/ (株)フジ環境サービス 技術グループ
発行人/ 山本幸弘
編集人/ 柳考志・井上富子
愛知県岩倉市鈴井町中島96番地
〒482-0035 ☎ 0587-66-6218
✉ gjjyutsubu@fujikankyo.co.jp

今月の虫予報
Insect Phase Forecast

Table with 2 columns: 虫種 (Insect Species) and 発生状況 (Occurrence Status). Rows include ユスリカ, チョウバエ, クロバネキノコバエ, コオロギ, カメムシ.

多くの虫は先月に比べさらに減少し、コオロギなどの歩行中の侵入も少なくなるものと思われる。標高が低い場所でも、今月にはカメムシやテントウムシなどが越冬場所を求めて屋内に侵入することが考えられる。急に冷え込んだ日の翌日には特に注意。

ノコ対策の消毒剤に
ピースガード

マンネンタケと人と虫
マンネンタケは漆を塗ったような光沢の傘と細長い柄が特徴的なサルノコシカケの仲間のキノコで、夏から秋にかけて広葉樹の切り株や根際に生える。本種はその独特の造形から飾り物にされたりもする。硬くて直接食用にはならぬが、古来、その薬効が信じられてきた。近年では癌の抵抗力を高める点が注目され、栽培方法も確率し、俗に「霊芝」と呼ばれ様々な健康食品などが販売されている。

ノロウィルス対策に備えを

感染していても症状なし
不顕性感染者に注意

ノロウィルスに感染すると、激しい腹痛や下痢、嘔吐などの症状が現れるが、感染者の1〜2割ほどは症状が現れない不顕性感染者といわれている。この場合でも感染力はあるため、ノロウィルス感染が頻発する11月〜3月は常に感染のリスクがあるという危機意識をもって衛生管理を徹底することが重要である。

現在、ノロウィルスに対して有効なワクチンや医薬品は存在しない。対策としては正しい手洗い、次亜塩素酸ナトリウム等による消毒が重要である。

手洗い実験

- ①片葉粉大さじ2杯を100mlの水に入れてかき混ぜ、温めながら水400mlを少しずつ加え、半透明の糊状になるまでかき混ぜた後よく冷ます。(でんぶん糊)
②洗面器に水を入れて、ヨードチンキを加えて10%ヨウ素溶液を作る。(ヨードチンキを10倍の水で薄める)
③冷えたでんぶん糊を手まんにまんなくつけ、手を開いて扇風機などで乾燥後、普段行っているように手を洗う。
④手の水気をきり、ヨウ素溶液に浸して、染色状態を判定する。

専用の調査機器が無くても、市販の製品を組み合わせることで、一般家庭においても適切な手洗いができているか確認することができる。

手洗い・消毒
トイレのふたの開閉

目に見えないノロウィルスに対して、普段の手洗いでどの程度洗い流せているのか実験する方法がある(左上参照)。正しい手洗いは、流水と石鹸を使い、指先、手の甲、親指、指の間、手首を約20秒間かけてこすり洗いする方法である。手洗い実験で色の付いた箇所については、特に意識して手洗いをを行うと良いだろう。

しかし、せっかく手を清潔に洗っても、細菌等が増殖したタオルでふいたら逆効果である。手に細菌等が移らないように、使い捨てのペーパータオルを使用することも重要である。

水栓やドアノブのような人の頻繁に触れる場所を定期的に消毒することも効果的だ。この際、アルコールでは充分な効果はなく、次亜塩素酸ナトリウム、もしくはポピドンヨードを用いることが望ましい。

また、簡単にできる対策として、排泄後、トイレのふたを閉めてから水を流すことが挙げられる。ふたをせずに排泄物を流すと、排泄物中の病原菌がエアロゾル(空気中の微粒子)になって

防虫用語の基礎知識

不顕性感染(ふけんせいかんせん)
細菌やウィルスなど病原体の感染を受けたにもかかわらず、臨床的に確認しうる感染症状を発生していない状態をいう。一般に感染していても必ず発症するとはいえず、大部分がこの不顕性感染となる。感染症状は抗体陽性や遅延型過敏反応などで確認される。不顕性感染者はしばしば保菌者(キャリア)となり、病原体を排泄し感染源となる可能性が高い。
ノロウィルスでは感染者の1〜2割ほどは、顕著な症状が現れない不顕性感染者といわれている。

空気中に漂ったり、床に飛び散ったりする。その後の90分間に空気中から病原菌が検出されたという実験結果がある。この実験結果が示すように排泄物中にノロウィルスが存在していた場合、トイレを使うことで感染症を引き起こしてしまう危険性がある。トイレのふたが無い和式便器よりも洋式便器の使用が推奨される。
基本的なことであるが、手洗い、トイレのふたを閉めることの重要性を再確認し、健康に楽しい冬を過ごしたいものである。



特徴的な色と形のマンネンタケ。



頭部の角が顕著なヒラツノキノコゴモシダマシ。マンネンタケ類で採集される。

本紙への「意見」感想を是非ともお寄せ下さい。発行所宛にメールをくださると、とてもうれしいです。ご意見を取り入れてさせて頂いた方には粗品を進呈します。

マンネンタケは漆を塗ったような光沢の傘と細長い柄が特徴的なサルノコシカケの仲間のキノコで、夏から秋にかけて広葉樹の切り株や根際に生える。本種はその独特の造形から飾り物にされたりもする。硬くて直接食用にはならぬが、古来、その薬効が信じられてきた。近年では癌の抵抗力を高める点が注目され、栽培方法も確率し、俗に「霊芝」と呼ばれ様々な健康食品などが販売されている。

人と関わりが深いマンネンタケであるが、野外では非常に虫に食われやすい一面がある。本種を野外で見つければ多種多様な昆虫(主に甲虫のシバンムシ科、オオキノコムシ科、ゴキウシダマシ科等)が採集できるので昆虫採集をしている人には非常に魅力的なキノコである。ちなみに人口栽培で使われた菌床は霊芝材と呼ばれ、クワガタムシの飼育に用いられる。本種は虫にとっても栄養価の高いキノコであるようだ。

安心
安全

人と環境にやさしい
次亜塩素酸ナトリウム製剤

食添・ピースガード



除菌率 99.9%以上

PERFECT POWERFUL PREVENTIVE

【販売元】
株式会社 ピースガード
www.psguard.jp



株式会社フジ環境サービス



ISO9001 認証・ISO14001 認証/本社にて対応

本社 〒482-0035 愛知県岩倉市鈴井町中島 96 番地

TEL.0587(66)6218 FAX.0587(37)7768

三河 〒442-0886 愛知県豊川市牛久保駅通 5 丁目 19-2

TEL.0533(86)1835 FAX.0533(86)1734

北陸 〒921-8012 石川県金沢市本江町 9 番地 14 号
サンバード金沢ビル 202 号

TEL.076(287)3971 FAX.076(287)3972